

地域の生活文化の程度を知るには、その地域を流れている川の状態を知ることが一番だと言われます。それは、その地域のいんなものが、最終的にその土地の一番低い所へ流れ、集まるからです。私は志原川に環境保全に少なからず、十九、十六年かかってその経過を観てきました。ひと昔前にはシジミ貝が川全体採れた時代もありました。しかし、十年程前、水中にたくざんいた緑の藻類が何もない、といった状況になってしまいました。水質の浄化を行う藻類を、このとき失ったと思います。水質の汚染環境に強いボラヤコイ、ウナギ、ナマズなどが生息しているだけです。また、近年ではブラックバスも入っているようです。豊かな自然があっても、そこに住む人々が健康で、その周りもきれいな地域へ都会からお客様が来たなら感動することだろう。

熊野古道からのてがみ

熊野古道からのてがみ 14 通目

次は 紀三町の 荘司 健さん



清水健一さん(高根町) 熊野古道センター監事 「あつよろらい」代表社員 主な担当 熊野古道語り部会の会長

特に世界遺産に登録された周辺には、このような地域であったと欲しい。す、小川が流れて野道の道や石仏、田んぼ、みかん園、古民家、野の花や鳥や小動物・・・など、様々なものが生き生きとしている。こんな所を歩けば何かを感じる。熊野全体がこんな地域であつて欲しいと願います。私たちも心豊かに生き、そして、熊野へみえるお客様も心豊かに帰って来ればと。

花尻 薫からの季節のたより No.14 「熊野古道沿いの片葉のヨシ」

「世にも珍しい片葉のヨシ」が江戸時代から、「いろいろの書物に書いてある」と有名な植物学者である牧野富太郎博士が書物に著しています。そして、「世人はこれを一種特別なアシ(すなわちヨシ)だと思っている。それは単にその葉が一方から風のいたずらで、一方を指しているに過ぎない」と述べています。この片葉のヨシは伊勢市二見町三津にあり、宝永六年(1709)の貝原益軒が書いた『大和本草』に、「伊勢ノ浜狭ハ三津村ノ後コニアリ、片葉ノアシ(アシ)ニシテ」とあり、『伊勢参宮名所図会』には「浜狭三津村の左の方に古遊あり里人の云片葉にて常にかわりけるを此辺にては高萩といふ」とあります。片葉のヨシは牧野博士の言葉通り、強風により葉が一方に押しやられて、群落全体が片葉に変形したものです。熊野古道浜街道の近く、志原川にあるヨシの群落の中に、西風の強風によって、片葉になり、一枚一枚が東に向けたヨシの一群があります。熊野古道を歩きますと、色々な姿の生き方をする植物を観ることが出来ます。

熊野古道センター案内「熊野古道おむすび」へのお立ち寄りください! おむすびのランチバイキング... 尾鷲市曾根の城山公園...

熊野古道センター案内「熊野古道おむすび」へのお立ち寄りください! 尾鷲市曾根の城山公園...

熊野古道センター案内「熊野古道おむすび」へのお立ち寄りください! 尾鷲市曾根の城山公園...



シャッターチャンス!! in 熊野

熊野古道に今年も春がやってきます。草木が芽吹き、動物たちも躍動する季節です。春いっぱい熊野古道周辺には、たくさん名所・旧跡・絶景があります。写真撮影のポイントもそこかしこにあって、たくさんカメラマンが心にのこる風景を写真に切り取っています。写真作家のRica(横山里香)さんも、そんな中のお一人。新進気鋭のカメラ女子です。趣味の延長だったのが、より写真をうまくって人になにかを伝えられたらと思いつき、単身フランスの写真学校へ留学します。フランス各地の写真を撮ってきたが、なにかが違っていた。彼女の求める被写体は、人と風土が織り成す日本の文化にあったのです。『日本で撮った写真のほうが、魂がこもっていると感じました。特に熊野で。だから、熊野を撮りたい。』そう語る彼女の写真スタイルは自然体。紀北町海山のごんべえ祭りを撮影に訪れた際には、近所に住むおばあさんと親しくなって、おばあさんのありのままをカメラに収めています。



熊野の自然や海や山の大自然へ、カメラ片手に出かけよう!



熊野の自然や海や山の大自然へ、カメラ片手に出かけよう!

地域情報News Pick Up. 普通のお花見で、満足できますか?

熊野古道周辺のちょっと変わったお花見スポットを紹介します。お城のある町、桜の木下には、なにがある? 熊野市紀和町の赤木城。山奥にそびえる城郭の威容に、うっとり桜花びらがマツチます。周辺には、日本の代表的朝顔として有名な丸山子牧田もあり、桜の花びら舞う頃、田植えもはじまり、美しいです。尾鷲市曾根の城山公園、リアス式海岸の入り江にある曾根の背後にそびえる山には、戦国時代に曾根陣が築いた陣の城があります。全国でもめずらしい濃い紅紫色のムラサキオンツツジの群生が見られます。山にも海にも、野辺の草木にも、命みなぎる「春」です。花より団子もいいですが、風にさそわれ、優雅に草花と戯れたいものです。

第五回熊野古道写真学校 開催!! 「熊野古道写真学校 ~新緑の熊野を写そう!~」

5月の熊野古道は、草木の新緑が目に見えるほどの美しさをたたえる季節です。そんな豊かな自然や、周辺の町並みや農村などは、被写体として多くの写真愛好家を魅了しています。みなさんも、熊野古道を舞台に、講師の丁寧な指導で、写真のスキルアップを目指しませんか? 熊野の海や山のお食事まで、おまちしております。開催日: 平成22年5月14日(金)~5月16日(日) 5月14日(金) 13時30分 熊野古道センター集合

熊野で健康になろうよ! 「熊野で健康ラボ」 和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

コロナが疲れたら、なにをしますか? 世界遺産・熊野は、いにしえから「真昼の森(緑)の地」として人々の信仰を集めてきました。その巡礼道のひとつ「熊野古道」は、かつて「熊野詣道」と呼ばれるほど、多くの人が癒しと祈りを求めて歩いた道。今も、神秘的な森林やのどかな田舎の風情に、あちこちで出会うことができます。ストレス社会に生きる現代人こそ、忙しい日常から少し離れて、ゆっくりと忘れかけた感覚を呼び戻す時間が必要です。いわば「現代版の熊野詣道」。熊野古道、温泉、清流、連綿と深い山並み、神祕の世界に誘う霧、素朴な人情、何もかもを包みこむ文化、癒しの地・熊野から「SLOW STAY」。昔は時間に追われる生活をしている人も、熊野のゆったり流れる時間に身を委せて、熊野古道をウォーキングしてみませんか? 大自然の恵を全身で受けることができます。熊野で健康ラボでは、楽しくウォーキングできる「熊野七ッ歩(熊野古道健康ウォーキング)」を行っています。

熊野の森はこころを元気にします。熊野古道は現代人にとっても癒しの道。さあ、熊野の森へいらっしゃい。詳しくは、「熊野で健康ラボ」HP http://www.kumano-de-kenko.com/Index.shtml をご覧ください。

イベント情報 Event Info. 企画展「全員集合!! 熊野の観音さま~熊野古道伊勢路周辺の観音信仰~」

日時: 平成22年2月20日(土)~4月8日(木) 時間: 9:00~17:00 ※会期中無休 場所: 企画展示室 入場料: 無料 熊野古道は熊野三山へ参る道であり、また西国三十三所巡礼へと向かう観音信仰の道でもありました。巡礼者たちは熊野古道伊勢路を歩きながら、道中にある寺院の仏像や、路傍の石仏に手を合わせ、旅の安全を祈っていました。本企画展では、住民に根付いた観音信仰と、観音巡礼の文化を通じて、熊野古道伊勢路周辺の風土を感じていただきたいと思います。

人形大使 ミス三重と青い目の人形展 開催日: 平成22年4月13日(火)~4月18日(日) 時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで) 入場料: 無料 場所: 展示棟企画展示室・特別展示室(予定) 主催: 答礼人形「ミス三重」の里帰りを実現させる会 共催: 三重県立熊野古道センター

企画展「森の贈りもの」 地域の土産品である尾鷲ヒノキや、スギ、トナリなど地域の木材を使って、作品を作り続けている川端敏郎氏の木の器の作品展「森の贈りもの展」を開催します。日時: 平成22年4月23日(金)~5月9日(日) 9:00~17:00 ※会期中無休

企画展「シリーズ熊野のお祭り 第一回 紀北町・引本の開船祭り(仮題)」 熊野古道周辺には、その地域ごとの文化的特性に沿った特異な祭りが残されています。今後5年間をかけて、各地域のお祭りをとり上げ、紹介・発信して行きます。第一回目の本年は、港町の勇壮なお祭り・紀北町引本の「開船祭り」をとり上げます。ごう!ご期待。

体験教室

4月17日(土) 春の野山の植物観察会 熊野古道センター周辺の野山で春の草花や小さな生き物を観察し、野山で見られる植物や山菜や山菜を食べます。表紙や友人同士で、ぜひ春の自然の恵みを楽しんでください。主催: 三重県立熊野古道センター、熊野自然学校

5月2日(日) 熊野古道センター自然学校 「七重御前で春摘み~貝つけよう!ハマの植物~」 奈良県センター長を講師に、初の植物の観察会を開催します。古道に一つ踏み入れれば、多種多様な植物や昆虫の宝庫です。熊野古道の春の気候、魅力を楽しみながら自然の恵みを深めましょう。

講座・講演

3月7日(日) 熊野古道講座「大馬神社で動物観察会」 熊野市の大馬神社は、坂上田村麻呂ゆかりの由緒ある神社です。そんな歴史を背景に、自然の恵みや動物や昆虫たちを観察し、自然の恵みを感じます。

4月24日(土) 講演会「もうひとつの熊野古道(伊勢路)物語」 世界遺産、熊野古道伊勢路周辺の歴史や伝説や自然環境について、熊野古道の歴史、文化、風習など、講師自らが見て歩き、体験した「もうひとつの熊野古道伊勢路」を語ります。

新しい古道の歩き方

5月 むかし暮らし探訪 ~熊野市波田川のヒミツ巡り~ 山と海に囲まれた、種々の広がるのどかな里、熊野市波田川で、いまも残る昔ながらの生活習慣や歴史をたどり、「むかし暮らし」を体験してください。

ゴールデンウィーク中のイベント

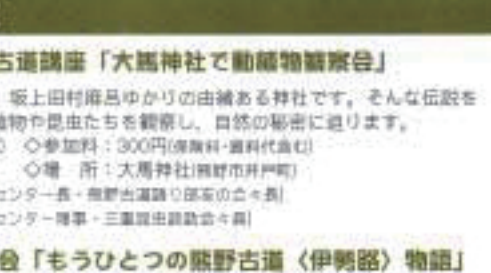
5月2日(日)~5月4日(火・祝) 第16回 おむすびの会 作品展 パラエティに集った自然の作品を展示すると共に、会員の手作りのゆきもち約1,000点のチャリティ販売やあそびみ道やラッキースターなどの企画も実施します。



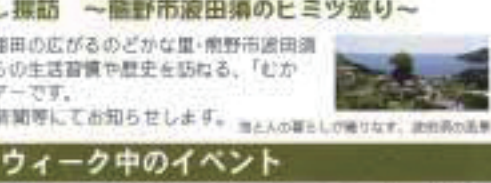
知恩輪観音さま(熊野市・紀和町)



熊野市波田川のヒミツ巡り



熊野市波田川のヒミツ巡り



熊野市波田川のヒミツ巡り